

【省エネ様式2】

記入例

補足資料との一致を確認すること。

ALPS基金事業

小数第1位まで記載
(第2位を四捨五入)

小数第1位まで記載(第2位を四捨五入)。
削減率の合算ではないため注意。
※下記の(計算例)を参照。

仕様性能証明書(漁船用エンジン及び省エネに資する機器)

設置場所			メーカー名 (取扱会社名)	機器名称(型式)	機器概要	削減率	削減率計 ※2
船名: ○○丸	被代替機関		◎◎(株)	ABC-D	連続出力: 330.9kW		
使用者: 省エネ太郎	導入製品 ※1	機関	◎◎(株)	ABC-DEZ	連続出力: 320kW	6.7%	19.2%
		機器1	××(株)	エコモニター	エンジンの状態の「見える化」により効率的な航行を支援する機器	3.0%	
		機器2	▲▲(株)	CFRPプロペラ	炭素繊維強化プラスチック(CFRP)	5.0%	
		機器3	(株)○○	最適航路選定	最適航路選定システム	6.0%	

「省エネに資する機器」を導入する場合、機器1以下に記載。

連続出力が小数第1位まで記載されている機関は、四捨五入せず記載。

※1 2つ以上の機器を導入する場合は、機器の行を追加して記載すること。

※2 削減率計 = {1 - (1 - 機関1の削減率) × (1 - 機器1の削減率)} × 100で計算する(加算しない)こと。

(計算例) 削減率計 = {1 - (1 - 0.067) × (1 - 0.03) × (1 - 0.05) × (1 - 0.06)} × 100 = 19.18...

当証明書を作成する、メーカー・販売店もしくは業者が記載(補足資料の『(メーカーまたは販売店)』と同じ)。

- ・当様式【省エネ様式2】は、補足資料の表紙として必ず提出すること(エンジンのみでも提出)。必ず補足資料と整合することをご確認ください。
- ・小数点以下の単位にご注意ください。
- ・提出はエクセルでもPDFでも構いません(作成者の押印は不要)。

令和○年○○月○○日

作成者 ○○ ○○

記入例

船内機（船内外機）の省エネ効果

設置場所 ・船名 ・使用者		①メーカー名	②リスト番号 ※1	③機関名称	④連続出力 (kW)	⑤4モード 燃料消費率 (g/kWh) ※2	⑥燃料消費量 (L/h) ※3 ④×⑤÷0.84÷1000	⑦省エネルギー効果 (%) ※4	⑧一覧表NO. ※5
・〇〇丸 ・省エネ太郎	被代替機関	◎◎ (株)	55	ABC-D	450.5 kW	215.50	115.57 L/h	6.7%	15
	導入機関	◎◎ (株)		ABC-DEZ	420.8 kW	215.28	107.85 L/h		30

例 省エネ機器設備リスト(②船内機、船内外機)

メーカー名	番号	機関名称	仕様	連続出力 (kW)	型式認定機関 証書番号	船内外機
	1	2GMFY		9.4	23-7065	
	2	3JH3		25.0	23-7067	
	3	3JH3S		25.0	23-7067	
	4	4JH3		33.8	23-7072	

※1 水産庁事業の「省エネ機器設備リスト」を指す (http://www.systemkyokai.or.jp/osirase/syouenekikidounyuusuisinn/Energy_saving_equipment_list.pdf)。

※2 4モード燃料消費率は、被代替機関・代替機関燃料消費率一覧表に記載された数字を記載。
なお、一覧表に該当機種がない場合は、※4に記す機関の性能データから
1/4負荷燃料消費率×0.15+2/4負荷燃料消費率×0.15+3/4負荷燃料消費率×0.5+4/4負荷燃料消費率×0.2により算出して記載すること。

※3 導入前後の燃料消費量は、④連続出力 (kW) ×⑤4モード燃料消費率 (g/kWh) ÷0.84÷1000により算出。
計算結果は小数点3位を四捨五入し、2位まで記載すること。

※4 ⑦省エネルギー効果 (%) = (⑥の欄の (導入前-導入後) ÷ 導入前)

※5 一覧表NO. は被代替機関・代替機関燃料消費率の一覧表NO. を記載すること
なお、一覧表に該当機種がない場合は、「機関の性能データ添付」と記載し、同データを添付すること

- ・潤滑油については、燃料でないことから上記の証明に入れていません。
- ・本事業の条件に拘わらず、地域等で出力制限等がある場合にはご留意・遵守をお願いします。
- ・上記の表中の⑦燃料消費量を含め、不明な点などはメーカーまたは販売店にお問い合わせください。

例 被代替機器・代替機器燃料消費率一覧表

メーカー名	機関名称	連続出力 (kW)	総行程容積 (L)	連続出力時 燃料消費率 (g/kwh)	4モード 燃料消費率 (g/kwh)
	JM2KC1	10.3	0.653	361.7	378.38
	JM3KC1	16.1	0.980	276.0	307.27
	JM03AB1	25.7	1.78	277.4	293.41
	JMC240M	32.1	2.37	289.6	296.67

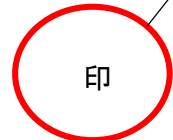
一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日 事業実施者 省エネ太郎

(メーカーまたは販売店)

〇〇株式会社



日付と事業実施者を必ず記載すること。

メーカーまたは販売店の押印

(補足資料) 【省エネ様式4-2】

記入例

船外機の省エネ効果

設置場所 ・船名 ・使用者		①メーカー名	②リスト番号 ※1	③機関名称	④連続出力 (kW)	⑤連続出力時 燃料消費率 (g/kWh) ※4	⑥燃料消費量 (L/h) ※2 ④×⑤÷0.74÷1000	⑦省エネルギー効果 (%) ※3	備考
・〇〇丸 ・省エネ太郎	被代替機関	◎◎ (株)	55	ABC-D	450.5 kW	215.50	131.19 L/h	6.7%	
	導入機関	◎◎ (株)		ABC-DEZ	420.8 kW	215.28	122.42 L/h		

例

省エネ機器設備リスト(①船外機)

メーカー名	番号	機関名称	型式認定機関証書番号
	1	02503F (DF25)	17-0012
	2	00801F (DF8A)	23-0005
	3	00994F (DF9.9A)	23-0006
	4	00992F (DF9.9)	17-0013

※1 水産庁事業の「省エネ機器設備リスト」を指す (http://www.systemkyokai.or.jp/osirase/syoudenekikidoonyuusuusinm/Energy_saving_equipment_list.pdf)。

※2 燃料消費量は、④連続出力 (kW) × ⑤連続出力時燃料消費率 (g/kw・h) ÷ 0.74 ÷ 1000により算出。
計算結果は小数点3位を四捨五入し、2位まで記載すること。(0.74はガソリンの比重)

※3 ⑦省エネルギー効果 (%) = (⑥の欄の (導入前 - 導入後) ÷ 導入前)

※4 船外機の性能データを添付すること

- ・潤滑油については、燃料でないことから上記の証明に入れていません。
- ・本事業の条件に拘わらず、地域等で出力制限等がある場合にはご留意・遵守をお願いします。
- ・上記の表中の⑧燃料消費量を含め、不明な点などはメーカーまたは販売店にお問い合わせください。

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日

事業実施者 省エネ太郎

(メーカーまたは販売店)

〇〇株式会社

印

日付と事業実施者を必ず記載すること。

メーカーまたは販売店の押印

(補足資料) 【省エネ様式5-1】

記入例

小数点以下を切捨

小数第1位まで記載(第2位を四捨五入)

小数第2位まで記載(第3位を四捨五入)

小数第1位まで記載(第2位を四捨五入)

■現状と同じ使用方法で運行した場合

代替機	行程	機関回転数 min-1	速力 kt	主機関負荷率 %	機関出力 kW	1時間当たりの燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
代替機: 1ABC-DEF 連続出力: 423kW 回転数: 2084min-1	往路	1,945	10.0	81.3	343.9	84.7	0.50	42.4
	操業	—	—	30.0	126.9	31.3	4.00	125.2
	復路	1,843	8.5	69.2	292.7	72.1	0.53	38.2
合計								205.8

それぞれ『端数処理後の数値』を記載すること。
(例) 計算結果42.35→端数処理: 小数第1位まで記載(第2位を四捨五入) 42.4と記載。

■見える化装置を導入して、機関回転数 1,800 回転で航行する。

代替機	行程	機関回転数 min-1	速力 kt	主機関負荷率 %	機関出力 kW	1時間当たりの燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
代替機: 1ABC-DEF	往路	1,800	9.3	64.4	272.4	67.1	0.54	36.2
	操業	—	—	30.0	126.9	31.3	4.00	125.2
	復路	1,800	8.3	64.4	272.4	67.1	0.54	36.2
合計								197.6

※燃料消費量は4モード燃料消費率を用いて算出する。

※上記数値の根拠資料(ヒアリングシート)を添付してください。

エンジンの状態を「見える化」する機器を導入した場合の省エネ効果	4.0%
---------------------------------	------

小数第1位まで記載(第2位を四捨五入)

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日

事業実施者 ○○ ○○

(メーカーまたは販売店)

○○株式会社

印

日付と事業実施者を必ず記載すること。

メーカーまたは販売店の押印

2. フィン付プロペラキャップによる省エネ効果

記入例

製品名/プロペラ主要目 (翼数/直径/ピッチ/展開面積比/軸径/ボス下端径など) :

〇〇株式会社製 製品名〇〇 φXX . . . (詳細を記載)

フィン付プロペラキャップを導入した場合の省エネ効果

2.0%

小数第1位まで記載
(第2位を四捨五入)

3. 炭素繊維強化プラスチック (CFRP) による省エネ効果

製品の主要目 (翼数/直径/ピッチ/展開面積比など) :

炭素繊維強化プラスチック (CFRP) の省エネ効果

5.0%

小数第1位まで記載
(第2位を四捨五入)

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日

事業実施者 省エネ太郎

(メーカーまたは販売店)

〇〇株式会社

日付と事業実施者を必ず記載すること。

メーカーまたは販売店の押印

印

(補足資料) 【省エネ様式5-4】

4. 増速することで主機関を効率的な回転数まで下げて運転することで省エネを支援する機器による省エネ (往復航行時は船用3乗で試算)

■現状と同じ使用方法で運行した場合 (船用3乗で試算)

代替機	行程	機関回転数	速力	主機関負荷	1時間当たりの 燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
						合計	

■増速機を導入した場合

代替機	行程	機関回転数	速力	主機関負荷	1時間当たりの 燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
						合計	

今後の更新で提示

- ※燃料消費量
- ※操業時の増速
- ※上記数値の根拠

増速機を導入した場合の省エネ効果	
------------------	--

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日

事業実施者 ○○ ○○

(メーカーまたは販売店)

印

(補足資料) 【省エネ様式5-5】

5. 航行時や曳網時で減速機を切り替えることで、省エネを支援する機器による省エネ (往復航行時は船用3乗で試算)

■ 現状と同じ使用方法で運行した場合

代替機	行程	機関回転数	速力	主機関負荷	1時間当たりの 燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
						合計	

■ 2段減速機

代替機	行程	機関回転数	速力	主機関負荷	1時間当たりの 燃料消費量 L/h	運行時間 h	燃料消費量 L
1速 速比							
						合計	

今後の更新で提示

※燃料消費量

※操業中の2段

※上記数値の根拠資料 (ヒアリングシート) を添付してください。

2段減速機を導入した場合の省エネ効果	
--------------------	--

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会
代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。
なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日 事業実施者 ○○ ○○

(メーカーまたは販売店)

印

(補足資料) 【省エネ様式5-6】

6. 最適航路選定システムによる省エネ効果 (1年間における多くのシミュレーション結果の平均値)

■ 従来と同じ航路を航行した場合

	航海	指定航海時間 h	燃料消費量 L (1)	平均速力 kt	航走距離 nm

■ 最適航路

	航海	指定航海時間 h	燃料消費量 L (1)	平均速力 kt	航走距離 nm

今後の更新で提示

※上記数値の

※往路・復路

② 最適航路選定

= { (1) - (2) } / (1)

※従来の燃料消費量の平均値を (1)、導入後の燃料消費量の平均値を (2) とする。

一般社団法人 漁業経営安定化推進協会

代表理事会長 三浦 秀樹 殿

ALPS事業継続基金事業の申請にあたり本紙を提出します。本紙の内容に相違はありません。

なお、本紙の内容に事実と異なることがある場合には、認定を取り消されても異議申し立ては一切致しません。

令和〇年〇〇月〇〇日

事業実施者 ○○ ○○

(メーカーまたは販売店)

印